

学校関係者評価委員会 議事録

学校法人せとうち

日本 IT ビジネスカレッジ

1. 日時 令和 5 年 9 月 4 日 (月) 15 時～16 時 10 分
2. 場所 日本 IT ビジネスカレッジ 201 教室
3. 参加者
 - 武久 顕也 瀬戸内市長
 - 萩原 康正 岡山県立邑久高等学校 校長
 - 平田 眞一 岡山県専修学校各種学校振興会 会長
 - 中島 義雄 株式会社システムズナカシマ 代表取締役 (オンライン出席)
 - 畑 憲一 司法書士 学校法人せとうち顧問 (オンライン出席)
 - 大西 秀樹 株式会社 SUMAIZU 代表取締役
 - 野崎 寿 牡蠣の家 しおかぜ 代表
 - 船岳 英之 長船日本語学院 事務長 (オンライン出席)
 - 田中 旬一 理事長
 - 橋口 博州 副理事長 (オンライン出席)
 - 山中 孝志 校長
 - 森 俊之 顧問
4. 審議内容
 - 1) 参加者自己紹介
 - 2) 田中理事長挨拶
 - 3) 自己評価アンケートの紹介
 - 4) 今期の現状について
 - 5) 来期以降の見込みについて
5. 質問事項
 - 1) 来期の学生募集の状況はどうか
→来春は専門課程で 100 名、日本語科 4 月 25 名、10 月 25 名以上を予想している。
すでに専門課程では 20 名弱の AO エントリーがあり、順調に推移している。
 - 2) 徴収不能額の 1200 万円というのは何か？
→2 期生の未収入金を損金扱いにしたもの。
 - 3) 2 期生の未収入金ということは、中途退学の学生の未収入金ということか・
→そのとおり
 - 4) 職業実践専門課程は取っているのか。取っているのであれば、様式 2-4 を職業実践専門課程の数字をもっと前面に出す必要があるだろう

→国際ビジネス学科は取っている。

6. その他ご意見など

- 1) 日本 IT ビジネスカレッジが邑久高校（生活ビジネス科）で一部授業を行っているが、全校生徒及び教員への認知度が低い。日本 IT ビジネスカレッジについて知らない教員が多い。
- 2) 邑久高校の生徒の進路希望は美容系、ファッション系が多く、IT系は非常に少ない。
- 3) 中学生の段階から日本 IT ビジネスカレッジへの広報を行ってはどうか。
IT関係の授業につき教員を派遣してはどうか。
- 4) 中高生に対する IT 教育は満足に行われていないようだ。
- 5) 瀬戸内市の奨学金は瀬戸内市在住の者など2名の連帯保証人が必要となっている。今現在、法人の連帯保証人は認められていない。実質外国人留学生への適用が難しい。
- 6) ホームページの見せ方に工夫が必要ではないか。
「高等教育の修学支援制度における機関要件の認可」の認定校であることをもう少し目立つようにしてはどうか。もう少しわかりやすく説明文を付けたほうがいだろう。
家庭の収入と得られる奨学金について説明が必要
無償化について、わかりやすく説明する必要。
- 7) 兵庫県は奨学金が手厚い。自然が豊かであるとか環境がいいだけでは学生募集につながらない。